

発注企業動向調査結果

～2025.9～

■調査時点 令和7年9月調査(令和7年9月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

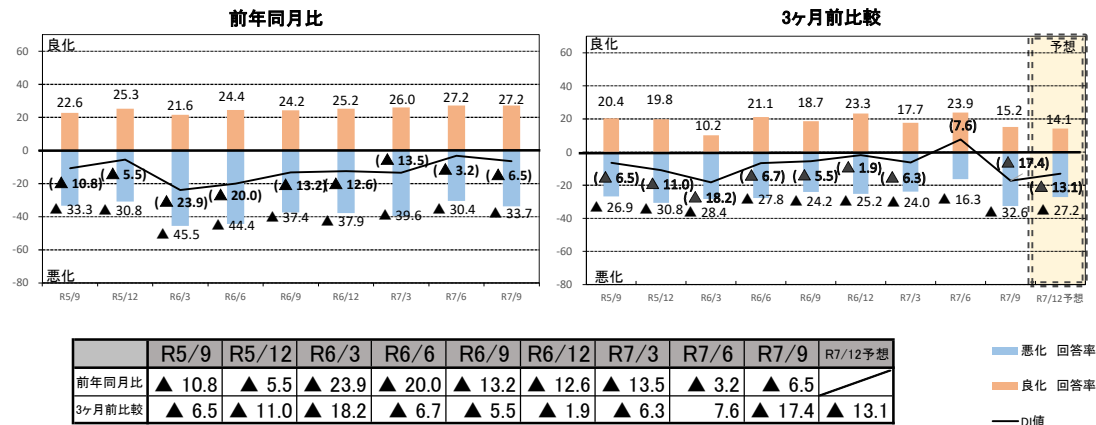
■回答企業 92社(回答率:61.33%)

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

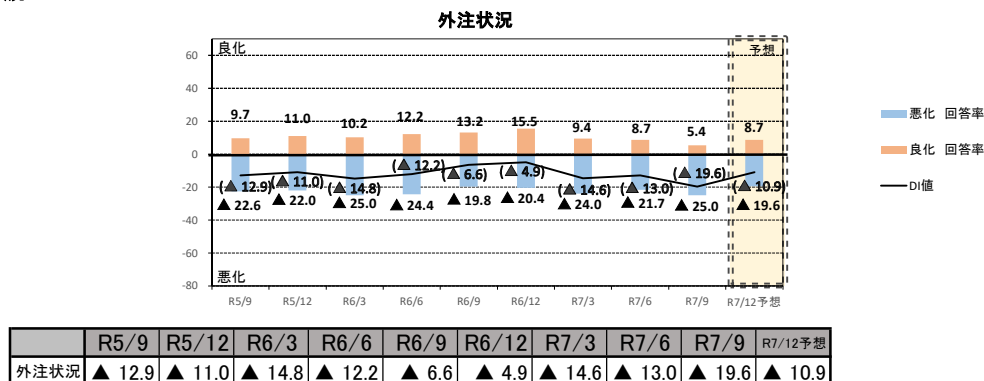
＜業種内訳＞

プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	10社
一般機械器具	13社
電気機器	23社
輸送用機器	20社
精密機器	3社
縫製	3社
計	92社

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲6.5で、前回の▲3.2から3.3ポイント減となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲17.4で、前回の7.6から25.0ポイント減となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲19.6で、前回の▲13.0から6.6ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲13.1、外注状況が▲10.9という予想になった。
- ・その他自由意見として、

【繊維工業】

- ・受注が厳しい状態が続いている。

【鉄鋼・非鉄金属製造業】

- ・全体的に受注減少してきている。また、材料費高利益圧迫している。

【金属製品製造】

- ・鉄骨業界の冷え込みは厳しく、回復には時間が必要。
- ・取引先の海外工場からの発注の変動により生産動向が大きく左右される。

【一般機械器具】

- ・増加はしているものの、限定的と思われる。

【電気機械器具】

- ・①2025年4Q以降は全体的に受注減、②2026年度上期全体で受注案件減予定、③車載関係・遊戯関係が2026年度以降厳しい状況、④材料手配(電子部品)かなり厳しい状況下に。
- ・昨年よりも受注は増加しておりますが、昨年の受注減少時に多数の従業員が退職し、今年の受注に対応できずにいる。

【輸送用機械器具】

- ・取引先の生産品目の変更によって、下期(10月～3月)の生産量は増加する見込み。

という意見が寄せられた。